

# サーフィン協会

平成 15 年(2003 年)創立

## 【サーフィン競技のあゆみ】

競技としてのサーフィンの始まりは、昭和 40 年(1965 年)に設立された日本サーフィン連盟(NSA・現在、日本体育協会への加盟を目指している)が、アマチュア競技活動についての主軸となり、設立当初からアマチュア競技でのルールの統括、競技での審査基準や運営方法の基準を設け活動しています。NSA 設立当時は、まだ競技としての確立もなく、海外のサーフィン競技を基にルールを築いていきました。現在は、世界共通ルールを基に競技を行っています。

## 【茅ヶ崎サーフィン協会の設立】

茅ヶ崎サーフィン協会は、平成 15 年(2003 年)に茅ヶ崎体育協会の承認を受け発足しました。既に、NSA 発足時より、茅ヶ崎には支部が発足しておりましたが、当時は競技人口も少なくまた、スポーツとしての認知度も低かったため、体育協会への加盟には至っていませんでした。昨今のマリンスポーツブームが契機となり、競技人口も増加し、任意団体としての支部活動では、行政への対応また、スポーツ振

興団体として活動していく意味でも限界があると判断し、創立 3 年前より段階的に体育協会加盟への準備を進め、現在に至っております。

## 【活動内容及びサーフィン競技】

サーフィンを通じて青少年の健全育成とサーフィン競技で常に上位入賞を目指して活動しています。

サーフィン競技は、トーナメント方式で行うのが一般的です。与えられた競技時間内(概ね 15 分程度)に波に乗り演技を行い採点されます。採点方法は、1 試技は 10 点満点です。スピード、技の難易度などに応じて採点します。2 回の試技の合計得点(最大で 20 点)で争います。同じ競技時間内に 2 名から 4,5 名の選手がおり、この中で 1 名ないし 2 名の高得点者が勝ち上がっていきます。

現在、茅ヶ崎サーフィン協会の会員は約 400 名おり、みな、年に一度開催される NSA 主催、全日本選手権大会を目指し日々練習しています。この全日本選手権大会へは毎年、多くの優秀な選手が代表選手として参加し、優秀な成績を修めております。

また、私たちは茅ヶ崎市の一員として、サーフィンをスポーツ競技の一つとして位置づけることにより、茅ヶ崎市市内での競技サーフィンの確立、地位向上、マナーの徹底、そしてサーフィンを通して自然の大切さを若い世代に伝え茅ヶ崎のビーチを守って行きたいと考えております。

前述の内容を踏まえ、私たちは茅ヶ崎市市内の多くのサーファーへも、情報の発信やマナーの向上なども提言しています。景観豊かな茅ヶ崎ビーチと共に、末永く続けて参りますのでこれからも、よろしくお願ひします。

#### 【役員】

会 長 林 正則

副会長 榊原 正雄、宇井 博美

理事長 寺尾 恵一

(上記、設立時から現在に至る。)



(茅ヶ崎市長杯開会式風景)